

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	12551	事務事業名	熊毛総合支所管理運営事業費			
担当部・課名	熊毛総合支所地域政策課	評価者(課長)	久野 哲郎	評価責任者(部長)	渡辺 由也	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900204	分野	9行政経営	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)その他			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	・ゆめプラザ熊毛(図書館を除く)及び熊毛総合支所	事業の目的(意図)	・市民が安心して利用できるように、施設の適切な維持管理を行う。
事業の内容(手段)	・ゆめプラザ熊毛(図書館を除く)及び熊毛総合支所庁舎の維持管理		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	施設管理経費削減	施設管理経費の目標に対する実績	%	目標値	19,732.0	23,942.0	24,702.0
				実績値	20,262.0	21,836.0	
達成度(%)	102.7%	91.2%					

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	19,732	23,942	24,702	26,443
うち一財		千円	19,498	23,659	24,266	26,099	24,266
(決算額)	直接事業費	千円	20,263	21,836		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	20,092	21,588		総合支所執務室のワンフロアー化を実施するため	
正職員人件費	千円	2,418	3,021				
人工数	人	0.33	0.41				
	支出コスト	千円	決) 22,681	決) 24,857			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・ゆめプラザ熊毛部分(図書館を除く)を含めて建物を一体のものとして地域政策課で維持管理を行っている。 ・熊毛公民館の部分については、平成30年度に生涯学習課から地域政策課に移管し、ゆめプラザの施設の一部として管理・運営を行っている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 ・今後、施設の老朽化により、空調機器等の設備関係を中心に、突発的な修繕が増える可能性がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市民に安心・安全なサービスが提供できるよう、適切な庁舎の維持管理を行う。	評価責任者コメント	市民に最善のサービスが提供できるよう、引き続き庁舎の適切な維持管理を行う。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
来庁者へのサービス向上と管理の効率化を図るため、現在1階と2階に分かれている総合支所の執務室を1階に統合してワンフロアー化する。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	庁舎等維持管理事業	施設の維持管理に必要な事業を実施し、安心・安全な施設環境を提供する。	ゆめプラザ熊毛と熊毛総合支所の施設・設備の維持管理、庁内の取り締まり、建物の環境衛生に関する事務。	21,836		0.43	0.05
				否			
②							
③							
④							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	31001	事務事業名	周南こどもゆめまつり開催事業		
担当部・課名	熊毛総合支所地域政策課	評価者(課長)	久野 哲郎	評価責任者(部長)	渡辺 由也

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	100303	分野	1教育・子育て	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3子児の健全育成			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)青少年の社会参加の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民	事業の目的(意図)	子どもから大人まで市民のネットワークを広げ、市民の一体感の熟成を図る。
事業の内容(手段)	●熊毛地域最大規模のまつりであり、主役の子どもたちを中心とし、多くの市民が共に交流し楽しめる体験型のイベントを、ゆめプラザ熊毛周辺で実施する。 <平成29年度実績> ・開催日;平成29年11月5日(日) ・参加者数;約12,000人		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					参加者数の拡大	参加者数前年度比	%
				実績値	10,000.0	12,000.0	
				達成度(%)	100.0%	120.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	500	500	500	500
うち一財		千円	500	500	500	500	500
(決算額)	直接事業費	千円	500	500		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	500	500			
	正職員人件費	千円	3,810	3,316			
	人工数	人	0.52	0.45			
	支出コスト	千円	決) 4,310	決) 3,816			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	このまつりは、子どもたちが提案した「子どもが主役のまつり」を実現するため、平成17年から開催されている。当初は、各地域巡回型のイベントであったが、平成21年度からは、熊毛地域で開催している。年々まつりの規模が大きくなり、平成29年度には参加者が約12,000人に達した。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 まつりの規模拡大に伴い、駐車場の確保、準備・片づけの人員不足等が問題である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	子どもに特化したまつりとして継続して開催しており、29年度からは名称を「くまげ周南こどもゆめまつり」から「周南こどもゆめまつり」に変更している。熊毛地域から発信する周南市のまつりとして内容の更なる充実を目指す。		評価責任者コメント	青少年の健全育成のためのまつりとして継続開催するため、引き続き人員の確保及び、効率的な運営を行う。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
賛助会員拡大への取組やスーパーの地域振興ボックス活用など、自主財源の確保に努めている。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	周南こどもゆめまつり開催事業	地域社会とのつながりを深め、協力・奉仕の心を養う。	子どもたちが企画から運営までを行う「ジュニア実行委員」、多くの中・高生ボランティアが参加し、様々な世代と交流しながら、まつりを作り上げていく。	500		0.84	0.10
②				否			
③							
④							
⑤							